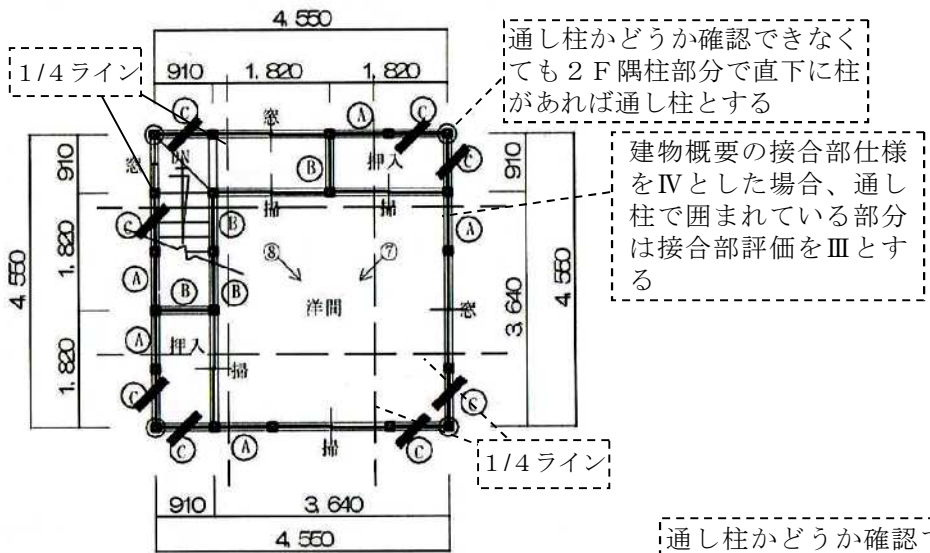


# 木造住宅耐震診断 平面図 作成例

【令和6年4月作成】

配布資料 03

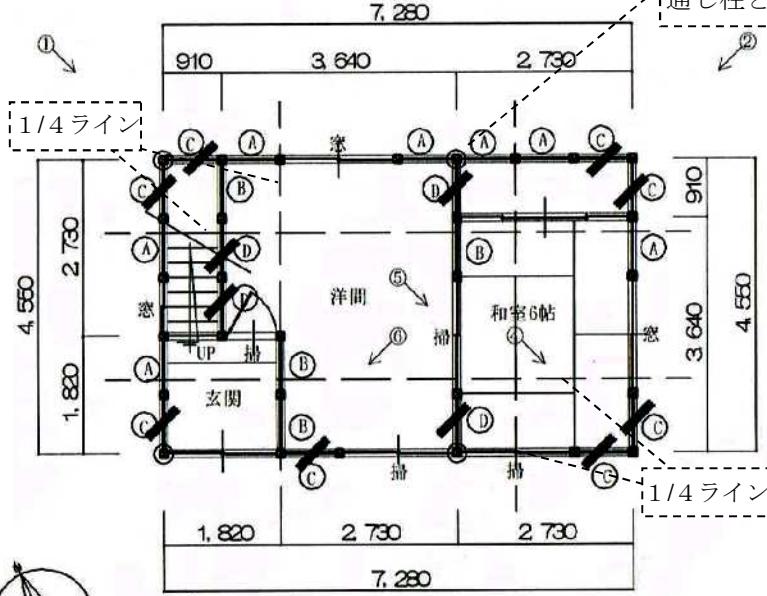


二階平面図 縮尺 1/100

通し柱かどうか確認できなくても2F隅柱部分で直下に柱があれば通し柱とする

建物概要の接合部仕様をIVとした場合、通し柱で囲まれている部分は接合部評価をIIIとする

通し柱かどうか確認できなくても2F隅柱部分で直下に柱があれば通し柱とする



一階平面図 縮尺 1/100

開口部凡例

- 既設筋交い 30×90
- 掃 掃出し型開口壁 (Fw=0.3)
- 窓 窓型開口壁 (Fw=0.6)
- 通し柱
- 写真番号

## 外部仕上げ表

外壁	全面 真壁裏返し塗りカラー鉄板張り
屋根	日本瓦土葺
基礎	無筋コンクリート打ち(健全)

## 内部仕上げ表

一階	玄関ホール	化粧合板A4	Fw=0.9
	和室6畳	じゅらく壁塗り	土塗り壁に準ずる
	洋間	化粧合板A4	Fw=0.9
	階段	化粧合板A4	Fw=0.9
二階	洋間	化粧合板A4	Fw=0.9
	廊下	化粧合板A4	Fw=0.9
共通	押入れ	合板A4	Fw=0.9

面積表		
	計算式	床面積
1F	7.28 × 4.55 =	33.12㎡
2F	4.55 × 4.55 =	20.70㎡
合計		53.82㎡

## 土塗り壁評価方法

土塗り壁は、原則目視確認にて「横架材まで達しているか」等の判断をする  
 ・やむを得ず目視確認ができない場合は、その旨を明記し、  
 原則 { 外壁部分「横架材まで達する」  
 内壁部分「横架材間7割以上」  
 } で評価する。

## 耐力壁仕様

Ⓐ	土塗り壁 塗厚 40~50 (2.4)+合板A4 (0.9)	Fw=3.3
Ⓑ	土塗り壁 塗厚 40~50(7割) (1.5)+合板A4 (0.9)	Fw=2.4
Ⓒ	土塗り壁 塗厚 40~50 (2.4)+筋かい 30×90 (1.9)+合板A4 (0.9)	Fw=5.2
Ⓓ	土塗り壁 塗厚 40~50(7割) (1.5)+筋かい 30×90 (1.9)+合板A4 (0.9)	Fw=4.3

目視確認により土塗り壁は、外部「横架材まで達する」  
 内部「横架材間7割以上」と評価した

土塗り壁評価の記入例

- ※ 目視確認により、土塗り壁は外部内部とも「横架材まで達する」と評価した。
- ※ 目視確認により土塗り壁は、外部「横架材まで達する」  
 内部「横架材間7割以上」と評価した。
- ※ 目視確認はできなかったが土塗り壁は、外部「横架材まで達する」  
 内部「横架材間7割以上」と評価した。